



おはなしの森

「光の方へ」

～ 谷田部裕子さんをお迎えして～

9月23日(日)

(次の日は振替休日でお休みだよ)

夕方4時から8時ごろまで
ジブリの森にて

雨の場合は三鷹駅前市民館 2F和室

プログラム

JCO臨界事故って覚えていますか？
その現場近くに住む子どもを二人もつ
お母さん、「谷田部裕子さん」が
お話して下さいます。
前座に「布絵しばい」あり。

6時頃、ゆっくりと日が暮れます。
ろうそくの灯で
持ち寄った一品を分け合って
いろんなこと、ゆっくり話しましょう

参加費・もちもの

- ・おつまみやお菓子など一品もちより
- ・一家族何人きても500円
(谷田部さんの電車代などに当てます)
- ・マイカップ、マイ箸、敷物持ってきてね

お茶やろうそくなどの準備
があるので、来たい方は声
かけてねorご一報ください!

ヨハナ
joha@otsukimi.net
090-7902-7230
0422-23-6080 (平日昼間)

または
マーク 090-4521-9384
トット 090-8515-2608
まで。

ほかに、三鷹やさい村、調布
みさとや、に伝言でも

「これから」をつくっていくさま。
私たちがくらしの小さな積み重ねが
そうすぐには世の中、変わらない。
けれどせめて、
想うこと、願うこと、祈ること。
そしてだんだんに、
家の中のこと、
ことごとくできること、
身近で無理なく伝えられること、
そうしていいねいに紡いでいけば
何十年かかるか分からないけれど、
きつといい方に向かうんじゃないかな。
まずは知ること、気づくことから。
そして自分で考えること。
日々の小さな選びを大切にすること。
それが、
先につなげていく
小さな一歩になる。
そんなきつかけになればと、
このジブリでのおはなしの森に
お誘いするわけです。

JCO事故の時は、はじめてのこともを生んでまだ入院しているところでした。産後の疲れたからだを横たえ、家に帰ればはじまることもとの生活その目の前の、つかの間のひととき、ラジオから聞こえた、臨界事故なんだか分からなくて、そのまんま。

でも不思議なことばなので印象には残っていました。

一年後、谷田部さんのお話をはじめて長野で聞いて、遠くの事故、と置いていたことが

じつは自分と関係じゃないことじゃない、と知って、抱っこしていることも生きていける未来、いのち、そのためになにかしなくちゃ、と思いました。

なにができるだろう。

ひとりひとりの生活の積み重ねが世の中になっている、としたらまず自分のくらしの意識を変えなきゃなってそれから、いのちにかかわることなんだから

せめて身近なともたちやお母さんには伝えなきゃ、って思ったものです。

でも、同時に、そうするのがイヤだった。

知れば知るほど、心細くも、不安にもなるし。

あー、知りたくなかったな、なんてね。

地球温暖化だ、ダイオキシンド、環境ホルモンだ、放射能だ、

食べ物が危ない、水が危ない、空気が危ない・

ほんとのことだとしても、大事なことだとしても、それを聞いた人はいったい幸せになれるんだろうか。

危険をしらせ、恐怖をあおるようなことはしたくない。

不幸の手紙にはしたくない。

そうでなくて、危険はサインなんだ、

本来そうであったように

春夏秋冬や朝夕、という自然の時間に大地のめぐみに、

循環するいのちの輪っか、人と人とのつながりに

手仕事やばあちゃんのお話に、活かされてきた

その本来の生き方を気づかせてくれるための、とびらなんだ

その向こうにはまだ今なら取り戻せる豊かな世界があるんだ、

そういう、よろこびのしらせ、福音にできないかな。

そうでなければ、やる意味ないな・・・

ほんのふた時ばかり、テレビや電気を消して、

忙しなくてなくゆっくりと話をきいたり、

それも会議室とかでなく車座で、

ろうそくの灯や風や天体の運行を感じながら。

そういう、美しい会にしたい。

そんなことを考えているうちにあっという間に

一年が経ちました。

そしてこの堂々巡りの迷い深い私を

助けてくれる家族や何人かのともだちがいて、

(そして、来てくれるあなたがいて)

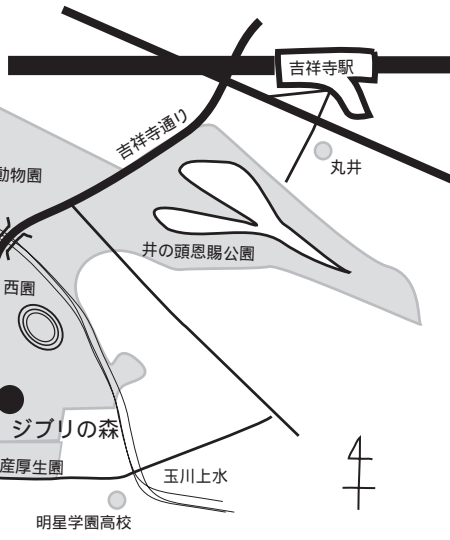
この、ジブリの森で土の上で座って、秋風を感じながらゆったりとした時間の中で

谷田部さんの話を聞く会をもつことになりました。

(そんな会になるといいな)



ジブリの森においでよ!

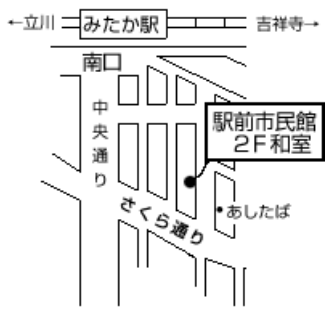


吉祥寺駅から徒歩だったら15分、バスだったら南口からどこ行きでも3つめ「明星学園入口」からすぐだよ。

あゆこー
あゆこー

雨の場合はここで！
三鷹駅前市民館2F和室

三鷹駅南口を出て、駅を背にしてひとつめの信号を左、三つ目の路地を左に曲がると左手にあります。



毎月、ジブリの森で満月の夜はお月見しているよ必ず暦どおりの日、夕方7時頃から。いつでもどうぞ。

絵・しずやんま 布絵・トット、ヨハナ、のらや 書・山田麻子